

か み

議 会 だ よ り

9月定例会 第7号

平成18年10月26日発行
発行 兵庫県香美町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0796-36-1111
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>

— CONTENTS —

- 小代健康公園管理条例 2
- 委員会視察報告（産業建設・広報） 10
- 住民の声 届くか（一般質問） 11～15
- この人 ここにあり 16



条例

小代区をグラウンドゴルフの里に

小代健康公園条例が提案され、可決しました。

質疑

問 使用料の設定が午前中が3時間半、午後が4時間になっているが

答 30分の差異がありますが、基本的には半日で考えています。12時から13時まで空白時間がありますが、入替時間として料金設定をしました。

問 照明施設の1時間350円の積算基礎は

答 電力の使用料を考慮して、実費相当分として1時間当たり350円を設定しています。

問 良い施設ができれば、たくさんの人に利用してもらうことが大事だが、料金の設定はどうか

答 6人、12人の使用になり、町民利用で一人当たり333円、167円となります。維持管理費もあり、納得してもらえる料金とを考えています。

問 グラウンドゴルフ場のとなり旧中学校の体育館があるが、利用者の雨やどりや休憩所として活用できるように思うが

答 体育館は老朽化しており、今の時点では対応がむずかしいです。健康増進施設について小代の活性化のため今なにか必要か、地域協議会で検討中であり、総合的に考えていきます。

問 施設の窓口、管理運営はどこになるのか

答 教育委員会小代分室が行います。

問 維持管理は職員にさせると言ったが経費節減になるのか

答 一般的な管理はあまりありません。芝生を刈らなければなりません。人を雇うより、職員がゆとりのある時間に短時間行うことにより費用が安くつくと考えています。



狙うはホールインワン

小代健康公園使用料

施設の種類		時間区分	8:30 ~12:00	13:00 ~17:00	18:00 ~22:00
			芝生広場	町民	1回につき 2,000円
芝生広場	町民以外	1回につき	4,000円	4,000円	4,000円
照明施設		1時間につき	350円		

村岡区3中学校

統合に向け、検討委設置

一般会計では、総額1億8千969万円、7つの特別会計で総額1億6千478万円の予算補正が行われました。審議では、主に村岡区3中学校の統合検討委員会設立、今年の夏（7月）豪雨による災害復旧工事、光ファイバーによる情報通信の未開通地域への対応について質疑がなされました。

質疑

問 学校統合検討委員会の人数、委員構成と開催予定は

答 3中学校区それぞれ6名の計18人の予定です。委員の構成は、自治会代表、女性代表、小・中・PTA代表、若い世代代表、学識経験者で4回程度開催するつもりです。

問 委員会の予算を計上することは、統合は「決定した」ということか

答 最終的に「決定した」ということではありません。今までの経過、教育効果の

統合への検討はじまる



観点から「前向きに検討」し、多くの方々の意見をお伺いし、総合的かつ慎重に判断します。

問 19年度から2年かけて通学費補助を削減するとしているが、「決定した」ということか。また、説明会も開催され、理解を得られていると判断しているか

答 これまでの説明会では、大きな反対の意見も聞いていないので、最終決定ではないが削減の方向で再度説明会を開催します。

光ファイバー 未開通地域への 対応は

問 光ファイバーによる情報網が整備されているが、未開通となっている地域もある。その対応は

答 町内で情報格差が生じているのは事実で、過疎化進行の歯止めという観点からも早急に対応したい。業者との具体的な話めも現在行っています。

災害復旧への 対応は

問 今回の補正で、今年の夏の豪雨災害発生箇所への復旧は全て完了するの

答 全て完了の予定です。ただし、山崩れによる治山事業（香住区境・今子方面）一箇所が完了しません。県の予算が付き次第、対応したいと考えています。

主な予算補正（一般会計）

- 普通交付税の確定
1,263万円追加
(総額53億3,763万円)
- 下水道会計への繰出
2億4,300万円減額
- プラスチック減容機の修繕
1,683万円追加
- (村岡区3中学校)統合検討委員会委員の報酬
13万円追加
- (7月豪雨)災害復旧工事
3億2,816万円追加
(総額3億5,590万円)

美方広域消防事務組合を解散

美方郡広域事務組合に統合

「美方広域消防事務組合の解散に伴う財産処分について」「美方郡広域事務組合規約の変更について」の関連議案も提案されましたが原案のとおり可決されました。

美方広域消防事務組合の財産はすべて美方郡広域事務組合に帰属させ、一切の事務もすべて美方郡広域事務組合に継承されます。



来春統合へ！ 美方広域消防

質疑

問 解散によって財政的な影響はどうか

答 議会構成で現在、二つの組合に10人づつ、計20人の議員が統合により12人になります。それ以外の財政的影響はないと考えます。

問 美方郡広域事務組合での火葬業務には村岡・小代区の人口対象で分担金を支払っている。香美町では火葬場を運営をしている。建て替え計画は香美町全域を対象としての計画なのか

答 香住の施設が老朽化し使えなくなった段階で、新

たな火葬場については、香住地域でなく香美町全域を対象とすることを基本としています。香住は老朽化しているため、そろそろ検討しなければなりません。場所ですが広域事務組合で取り扱っている部分については運営問題がどうなるのか、時機を失しないよう早めに協議をしていきたいと思えます。

問 広域な業務をやることによつて経費の節減が出来るとしてやってきたのに、なぜ個々の町でやるのか

答 規模を大きくすることで効率化が図れます。町内で2箇所利用できるものを、どちらが効率化かと考えると、香住の施設が老朽化し香住だけの建て替えは効率的でない。一本化したほうが効率的だとの観点から取り組んでいきます。

問 新しく建てるから脱退しますで良いのかとの気がします。どう認識するのか

答 基本は町として一本のものを作ることですが白紙ではなく今あるものから香



老朽化進む香住斎場

美町の方へ区域を移し替えることです。それについては精力的に協議をして、大きな問題のないよう努力しながら解決したいと思えます。

協議は早めに開催したいと考えております。そうならば美方郡広域事務組合から外して香美町の業務であり、新温泉町の業務になります。そういう面での両町の協議、併せて郡広域事務組合で十分な協議が必要で



待ちました！ナイター設備

今子浦グラウンド ナイターもOK

若者のグループ及び町民からの要望が多かった、今子浦グラウンド夜間照明整備工事の請負契約を全議員賛成で可決しました。

これにより野球の公式試合のできる夜間照明ができることとなり10月20日から工事に着手の予定です。

一、契約金額

5,302万円

二、契約の相手方

豊岡市中陰399の12
白菱電気設備(株)

質疑

問 町で資機材の提供があればボランテアでやる部分があるが提供する考えがあるか

答 よく協議します。

問 入札額、最高と最低に2,750万円の開き。メーカー指定があるのか。なぜ大差が。落札率は何か

答 メーカーでなく仕様で入札しました。入札額は業者の企業努力と理解しています。落札率は99%です。

問 塩害がひどい。高圧受変電設備の屋根は考えているのか。

答 屋根はつけない。つけると道路から20m離さないとけない。2mの高さ、4m四方で囲みます。

問 照明による農業・漁業への被害はないか。

答 周辺に農地はありません。漁業にも影響はありません。

庁用備品に1,900万円!!

新庁舎における庁用備品は原則、旧品を使用するが様式の合わないもの、新しい部屋に配備するものについて例外的に新規購入を図る購入契約の提案があり、全議員賛成で可決しました。



完成に向け急ピッチ

質疑

購入備品はデスク類4種90品目、77種892品目で多くがコクヨ製品でコクヨ同等、それ以上のものとした契約内容です。

一、契約金額

1,913万円

二、契約の相手方

香美町香住区香住172-1
北村書店

問 コクヨ製品が主である中、ほぼコクヨとの判断でよいのか。コクヨ販売店は有利になるのではないか。コクヨ以外のものでも競争できたのか。コクヨのみの指定金額はいくらか

答 基本的にはコクヨ製品です。それ以外のものでも同等のもので対応できるようにして入札している。コクヨのみの指定金額は一部未満です。

企業会計決算を認定

6月定例会において、付託された2企業会計は、公立香住病院事業を文教民生常任委員会へ、上水道事業を産業建設常任委員会へ審査が付託されていましたが、9月定例会第四日の本会議に委員長より、それぞれ審査報告が行われ、採決の結果、全議員賛成で認定しました。

病院会計

質疑

問 特別損失の内訳は
答 過年度損益修正損569万1千円については、3件ほどの大口の減額が生じたことによるものです。

問 一時借入金の償還計画と利率は
答 一時借入金については、支払がかさむ6月、9月、12月、3月を前に主として借入を起こし、病院収入と町の繰出金との調整のなかで返済しながら運用しています。借入先は、町と町内金融機関で利率は年0.24%から0.42%です。

問 国県補助金の大幅な減額の内容は
答 平成16年度までは普通交付税の中で病院群輪番制運営費補助金救急医療・保健衛生分として収入していたが、平成17年度からはなくなつた(一般財源化)ことにより、564万4千円減の55万6千円となりました。

上水道会計

質疑

問 営業収益減額原因は使用水量(有収水量)の減少としているが具体的に
答 一つに給水収益の減、漁業、水産加工業、観光業の低迷による観光客の減少、人口の減少に加え節水型設備器具の普及により有収水量が減少しました。

二つに受託工事収益の減、受託工事が無かつたためです。
三つに資産減耗費の減、下浜2工区の固定資産除却費に相当する下水道工事の物件移転補償金の減によるものです。

問 水需要の推移、下水道接続により節水の影響による使用料への影響は
答 水需要の低迷による収益の悪化については、経費の節減である程度吸収でき、直接使用料の引き上げに結びつくものではないと考えます。

しかしながら、留保資金の伸び悩みは将来的な設備投資の財源に影響を及ぼしますので、若干の間接的影響はあるものと考えます。

問 企業債償還の見込み、今後の見通しは
答 水道設備整備に伴い、これまで借り入れた起債の償還については、年次ごとの計画に沿って償還しており、今後も大きな変動はなく5千600万円から6千万円で推移するため、会計に大きく影響を及ぼすものではないと考えます。

しかしながら、留保資金の伸び悩みは将来的な設備投資の財源に影響を及ぼしますので、若干の間接的影響はあるものと考えます。



「おばあちゃん大丈夫?」



水は大切だ

請願採択 意見書を提出

出資法の上限金利の引き下げ等、「利息制限法」、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願

請願者 兵庫県司法書士会
会長 島田 雄三
兵庫県司法書士政治連盟
会長 福田 見正

請願事項

香美町議会が国会及び政府に対し、「利息制限法」、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」（以下、「出資法」といいます）及び「貸金業の規制等に関する法律」（以下、「貸金業法」といいます）を以下の通り改正するよう求める意見書を提出することを採択して頂くよう請願致します。

1. 利息制限法の制限金利を、市場金利に見合った利率まで引き下げること
2. 出資法第5条の上限金利を、利息制限法第1条の制限金利まで引き下げること
3. 貸金業規制法第43条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること
4. 出資法における、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること

この請願を採択し、意見書を内閣総理大臣はじめ衆・参議長、関係各大臣に提出することを決議いたしました。

村岡高等学校の1学年3学級の復元を求める請願

請願者 村岡高等学校PTA 射添中学校PTA
今後 武司 片山 正幸
兎塚中学校PTA 小代中学校PTA
黒田 和良 毛戸 明子
村岡中学校PTA
谷脇 文雄

請願の趣旨

但馬の小・中・高等学校では過疎と少子化が進み、統廃合の計画が推し進められています。村岡高等学校の主な校区となっている美方郡東部でも生徒数が減少し、本年度は学級減を余儀なくされました。現行の学級編成基準の1学級40名を機械的に当てはめれば、今後さらに村岡高等学校の存続が困難になることさえ予想されます。

ただでさえ、都会に比べて多くのハンディを持つ児童・生徒から教育の機会均等を奪うのは筋違いです。教育に過疎があつてはなりません。また、学校が地域の活性化のために果たしている役割も失われ、過疎化を一層進めることにもつながります。

全国的にも児童・生徒が減少している今こそ、30人以下学級を実現する絶好の機会と考えます。さらに、来年度は美方郡東部の4中学校卒業生数は102名で、関宮中学校を加えると146名となり、1学年2学級では村岡高等学校に入学できない生徒が出てくることは明らかです。

このような事態を踏まえ、以下の請願をします。

請願事項

1. 村岡高等学校の学級数を増やして、1学年3学級にもどすこと
2. 兵庫県独自に過疎・少子化地域から小・中・高校でクラス定員の弾力的な運用を行い、早期に30人以下学級を実現すること

以上の請願を採択され、兵庫県教育委員会を始めとする関係機関への意見書提出を含む適切な処置を講じていただくことをお願いいたします。

この請願を採択し、意見書を兵庫県知事及び兵庫県教育委員会委員長に提出することを決議いたしました。

臨時議会

8月10日に臨時議会が開かれ、補正予算3件に加えて、和牛振興公社などの業務報告2件と香住港湾線の自歩道工事、診療所の医療器具購入の契約2件、雇用促進・若者定住を柱とする企業立地促進条例など地域の振興や住民の暮らしに直接関係する重要な提案がありました。
全提案を慎重に審議し、全議員賛成で可決しました。

農林業・漁業などの事業拡大に

支援制度ができました

- 奨励金**
- ①新・増設する工事等にかかる固定資産税相当額
 - ②新・増設して操業開始5年間の各年度の新規雇用の常用従業員数に15万円を乗じた額

支援の内容

交付の対象

本町の産業振興に緊要と認められる工場等の新設または増設する企業



更なる発展を！

※工場等
農林業、漁業、製造業、
宿泊・サービス業、飲食業、
運輸業、卸売業、情報通信
業

振興の起爆剤になるか

問 大型店舗の進出で町内の商店は閑散とし、高齢者の日常生活にも多大の影響が及んでいる。

答 本制度適用対象の飲食業、宿泊業についても同様の不安を抱いているが

問 小売業のように町内の業者を圧迫する事にならないと考えています。

答 特徴的経営努力で共存共栄が図れる宿泊・飲食業の進出は、観光振興の観点から必要だと考え、対象にしています。

問 休漁期間の有る漁業については、次年も継続雇用であれば年間雇用とみなす



安全性点検「よし！」(小代ゴンドラ)

問 との説明だが、関連の水産加工業についてはどうか

答 水産加工業も共通部分がありますが、年間雇用形態の事業所もありますので、今回は漁業のみとしました。

問 制度の周知方法は

答 町外には、新聞、文書を直接届けるなど進出を歓迎する制度のPRを行います。

問 町内向けには、制度活用で事業拡充、若者定住が促進されるよう、雇用奨励金など制度の利点を町広報、既存企業対応を含めて徹底周知を図ります。

待望の自歩道整備にGO!



漁期入り、車の出入も頻繁に

- 問** 漁期の真っ只中であり漁業、水産加工業、販促商店の関係車両で特に混雑が予想される。この時期の工期に不安がある。対策は
- 答** 設計作業等でこの時期になりましたが、最低限、観光対策優先の観点で支障がないよう、時間帯の調整を含めて、万全の体制をとりたいと思います。
- 問** ボールや子供の飛び出しによる交通事故が気になるが、公園と車道の間はどうなるか
- 答** 公園と歩道の間は松と低木で緩衝緑地を作りますが、なお、状況を見ながら町として補完的な対策も考えます。
- 問** 使用形態、周りの状況を踏まえて幅員、停車帯など道路の構成を考えるべきではないか
- 答** 地域全体のまちづくりの中で道路の効用を考え、今後については十分配慮をいたします。



スキーと湯煙の郷の牽引力に…



こころの原風景…

和牛公社

今が正念場!

- 問** 公社設立の趣旨と現状はどうか
- 答** 但馬牛振興のモデルとして目指した方向は現在も間違っていないと考えています。ただ、多くの問題を抱えており、経営状況と起債の償還期間等をみながら拡充と縮小の両面で検討が必要と考えています。
- 問** 受胎率の向上もさることながら出荷頭数が重要ではないか
- 答** 不良牛もあり、受胎時期で3月に出荷できなかつたものも有りますが、ご指摘の通り、役員会の中でも出荷頭数が非常に重要だと認識しています。
- 問** 高額の未払い金に人件費が含まれていると思うが
- 答** 当然のこととして社長自身も考え、支払い努力をしているところです。

「八チ北温泉湯治の郷」指定管理

期待だけでなくバックアップを!

- 問** 指定管理料、施設の修繕等について、設定の基本的な考え方は
- 答** 運営費用は収益で賄うのが基本ですが、施設に公益的な必要性がある場合は一部負担もやむをえないと考えています。
- 問** 指定管理料の上限額、施設機器修繕費負担の合意はできているのか
- 答** 収支状況を勘案して協議することになっています。
- 問** 町有の温泉施設管理、レジオネラ菌対応など安全性の責任をどのように考えているか
- 答** 施設の通常有すべき安全性は設置者(町)、運営上の瑕疵は管理者が負うのが基本です。しかし適正に管理させる責務は設置者にあります。
- 問** 公衆衛生上の指示、定期的な報告など事前対策を含めて指導の徹底を図ります。

委員会視察報告

産業建設常任委員会

委員長 後 垣 晶 一

求められる但馬牛は？

◆研修の目的

松阪牛で名高い三重県松阪市へ視察研修を行った。市の担当者から畜産振興について説明を受けると共に、肥育農家とすきやき等で有名な「和田金」牧場を視察し、生産者の生の声を聞くことができた。



◆松阪市の牛の導入状況

松阪市では、松阪牛協議会、会員数129名の組織があり、導入状況は16年度3433頭、内兵庫県産牛は620頭で18%、17年度は3393頭の内542頭で16%、導入の主力は宮崎鹿児島、岐阜県産が全体の70%を占めており、他県産牛のウエートが年々高まっている。

一方、和田金牧場の辻場長は、兵庫県産の雌牛だけにこだわっていることから、松阪牛協議会には加入していない。128年の歴史と老舗を守り続ける事が使命であり、今後も兵庫県産牛以外は扱わない。松阪牛協議会も必ず原点にかえてもらえらる時が来ると信じている。

◆但馬牛の評価

肥育農家と辻場長の但馬牛に対する評価は

- 一、但馬牛は他県産牛と比較して大きくなりやすく、肥育に30ヶ月以上かかり、採算ベースに乗せにくい。
 - 二、出荷前に濃厚飼料で太らせた牛は、餌の食いが悪くなったり、内臓障害を起こして管理しにくい。
 - 三、放牧、粗飼料を中心とした、但馬の歴史をもう一度取り戻してほしい。
 - 四、閉鎖育種にこだわりすぎて、血液が濃くなり、その弊害が出つつある。
- 等々但馬牛について、率直な声を伺うことができた。

◆まとめ

但馬牛の今後について、肥育農家が強く求めている丈夫な子牛、すなわち濃厚飼料を控え、放牧をはじめ「すくすく草育ち」の産地拡大を目ざして、JAと連携して取組みを強化していく必要がある。

和牛振興を図る上で大変意義深い研修でありました。

議会広報特別委員会

委員長 寺 川 秀 志

よりよい広報紙をめざして

◆内灘議会だよりの特徴

うちなだ議会だよりの特徴にすぐれたところは、当局提案の議案に対しての賛否を議員の名前を入れて掲載しています。



開かれた議会での議会広報の本旨としては当然なことだと言われていましたが、議案によっては議決の結果を明らかにしたくない議員心理がはたらく中での掲載は大変評価できるものです。

なお、香美町議会では、全議員の申し合せにより記名投票のみ議員名を掲載する事になっています。

◆研修の目的

他町の議会を訪問して、議会だよりの編集等について、意見交換をすることによって住民にとって分かりやすく、親しみやすい議会広報紙を制作するために、毎年行っています。

◆かみ議会だよりの入選

第27回兵庫県町議会広報紙コンクールにおいて、かみ議会だよりNo.5が入選しました。

今後も更なる飛躍をめざして広報委員一丸となつて頑張りたいと思います。

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月12日から13日まで10名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



早急な対策が望まれる (産経新聞社提供)



地域住民の声、届くか

豊岡市福田の一七八号線が



柴田幸一郎 議員

活発な梅雨前線の影響で

国道一七八号の通行止めを排除せよ 北但一市二町問題として運動する

7月19日冠水し通行止めとなった。通行止め排除について問う

①国道一七八号線は北但を東西に結ぶ主幹道路であるが、通行止めとならぬ対策を講じられているか

②豊岡市・香美町・新温泉町での運動が不可欠と考え

③高規格道路佐津〜豊岡間の着工の見通しは

町長

①香住病院・豊岡病院の連携の中で救急対応が今まで以上にありますので、豊岡土木を含め県と直接交渉する等解決に努力

②既存の『国道一七八号線整備推進同盟会』で直接県の重要ポストに強力に運動を展開し、実現できるように努力していきます。

③北近畿自動車道が豊岡にきたとき高規格道とつながり、今年から来年にかけて精力的に取り組む課題だと考えています。



寺川 秀志 議員

産廃処理施設建設への合意形成は 佐津谷地域の皆さんの意見を聞きます

最近、奥佐津地区において産業廃棄物処理施設が建設に向けて準備が進められていると聞いている。しかし、関係する地区住民は、不安を感じており、今後の

状況を注視するところであるが、環境問題等を考える関係する町の首長として関係住民の意見を十分聞いて対処すべきであると思う。そこで、香美町長として、どのような考えのもと、知事に対して、意見を述べるのか町長の所見を伺う

町長

合意形成については、これから正式に県条例第13条に基づく手続きが、

行われます。

今回の事例は、下岡区以外にも環境に影響を及ぼすことを考えると、下岡区だけの意見を聞くのではなく佐津谷地域のそれぞれのグループの皆さんの意見をお聞きしながら行政が最終的にまとめる段階には区長会の声をトータルとしてお聞きし、その上で、町長としての判断を県に伝えたいと思っています。



観光シーズン到来

道路状況の有りようで産業活動、住民生活は大きく



小林 利明 議員

交通難所の道路整備見込みは積極的に強く県に働きかける

左右されるが、県道香住村岡線の改修箇所と完成時期、及び、以前から懸案の現一七八号線七日市地内と矢田橋の改修見込みはどのようになっているか

町長 県道香住村岡線の改修箇所と完成時期は、

大乗寺バイパスの香住区森から同区大谷の内、油良口から加鹿野の間と境バイパスの香住区八原から村岡区山田口の間は、平成24年度に完成の予定で、残る加鹿野と大谷の間は、引き続き着工できるように強く県に働きかけます。

また、村岡区高津の改良工事は平成19年度中に完成の予定です。さらに、一七八号線の七日市地内と矢田橋の改修は、「平成23年春の余部道路の完成と同時に取組む」土木事務所の見解に変わりはありませんが、確約が頂けるよう、一層、積極的な働きかけを展開します。



安全便利な集落に



岡田 公男 議員

18年度町政執行状況は概ね順調に推移している

18年度予算事業の執行は計画どおり、とり行われているか。今後、次年度以降の事業の不急、不要について現地に出向き直視、どのような事業を重要視し、取

り組みしなければならぬと整理されているのか。産業振興が必要との基に観光を中心に農業、水産業との連携をはかった産業振興は、具体的に今日どのように現時点であらわれているか

町長 事業執行状況は概ね順調に推移しています。250万円以上の公共工事建設は54件で32件、約60%の発注、早く進めるよう督

励しています。幹線交通アークセスを整備し連続する生活道路など必要性の高いものから整備を進めます。福祉、教育などの課題に地域の皆さんの意見を聞き可能な範囲で取り組みたいと思います。民宿、旅館と新鮮な魚介類、但馬牛、農産物の供給など産業全体を関連して発展させていく取り組みを進めていきたいと思っています。



安全な農作物を



まず庁内体制から (村岡地域局)



長瀬 幸夫 議員

国の行政改革で格差社会が生まれたと言われている。

行政改革は知恵を出して自らが 先ず庁内体制を出来ることから

「改革とは、制度や習慣など、よりよく改める」となっているが、我が町の行政改革に対しどのように配慮しているか、地方分権で自己決定・自己責任と言われるが手足を縛られた状態で知恵を出す部分しか残っていない。職員の縦割りの体

質から横の連携のとれるグループ化を町長以下、職員スタッフで考える時ではないかと思うが

町長 合併時の町づくりを基本とし、地域の有識者のご意見の集大成も必要。3区の社会基盤整備では余

り格差はないのでは、行政政策では画一的でなく十分な配慮が必要と感じており、対応しながら進めたいと思います。庁内体制は、自ら考えていかななくてはならない問題です。他の町の良いところを取り入れ出来ることはやっつけていく姿勢で先ず中からの体制改革を進めていかななくてはと思います。

積極的なEM菌の活用を 成功事例を中心に取り入れたい



西坂 秀美 議員

食の安全は何よりも優先すべきだ。取り組む市町が増えてきた。本町で農薬を使わず、化学肥料も使わず、EM菌で農産物の生産に取り組んでいるグループがあ

る。使用済み医療機器の漂流等は不可抗力だが、自分たちの手で出来ることは多く残されている。安全安心に配慮した農産物の生産に取り組む考えがあるか。畜産の臭い、健康対策に魚の残さい処理にEMで試験的に取り組む考えは

町長 EM等安全安心な農産物の生産は農家の皆さんが積極的に取り組める

環境づくりが必要で。EMの成功事例を中心に皆さんに取り入れていただくことは必要と思っております。畜産には一部取り組んでいる状況があります。畜産振興を図る本町は今まで以上に進めたいと思います。魚の残さいは、えさに利用したり、業者に処理を委託する方法を継続しつつEMの活用も研究していきたいと思っております。



どう活かす？この3階（香住病院）



ついに御用

「さる」対策の考えは

住民の期待にそうよう取り組みます



吉田 増夫 議員

本年度、さるの捕獲おりの増設もあり、捕獲頭数も

増えた。今後も増設が必要であり、また、監視も半日では不十分であり、一日監視が必要である。また、住民の協力をえて、来年より「犬」での追い払いを計画している。県の方針は「さる」を山に返し、共生を目的としている。早く、人里

はこわい所と教えるためにも、今後、「犬」と銃を一体とした追い払いを考える必要があると考えるが、町長の考えを伺う

町長 本年度は、12頭捕獲しております。捕獲おりについては追加で2基増

設予定をしており、住民、農家の皆様の期待にそうよう、可能な限り取り組み、少しでも被害を少なくするよう努力し、共生関係については、国や県の指導を受けながら積極的に進めていきたいと思っております。

香住病院3階は療養病床として活かす 実現へ努力している 年内には決める



川端 政明 議員

村岡こぶし園もすでに130人を超える入所申し込みがあると聞く。しいの木荘も待機者がある。高齢化が進む中で、香住総合病院3階を療養病床と

して住民に利用してもらおうべきだと考える。他病院の資料も得て、収支も含めて種々検討されているようである。3階病床の活用について具体的に示す時期だと思うが

その実現に向かって努力をしたいと取り組んでいます。いろいろな問題（**注**町長より詳しく説明あり）があり、今の段階では結論は出ません。

町長 病院経営の問題、香美町における高齢化対策という観点から、3階を療養病床として活用できれば一番いいと思っております。

来年に向けての予算に反映をして、来年から取り組むというのがぎりぎりの段階。遅くとも年内に方針を決定すべく議論を進めていきます。



元気に通う子供たち

町長は、19年度に向け4億6千万円の財源不足、そ



山本 賢司 議員

財政難口実の負担増、生活後退やめよ 実情示し住民の理解と協力で

の上、28・8%の実質公債費比率で行財政改革を進める、と言う。一方で、本年度策定予定の町総合計画は遅れ、地域協議会への諮問すらない。通学対策は半減(限度額設定)、上下水道料金見直し、など支出削減と負担増が見込まれる。こ

町長 財源不足は、庁舎基金残もあり、3億円と

れでは、負担増とくらし破壊が見えるが、住民にとって将来が見えない。今こそ、くらしを守る町政のため、住民と共に、国へ声を上げるべき時だ

見込んでおり、借金の実情は早急に住民説明をします。総合計画策定は、10月下旬、地域協議会へ諮問、来年2月審議会、3月議会提案に向け急がせます。通学対策は中学統合との関連もあり、よく協議します。料金引き上げなどは実情を示し住民の理解と協力の下、進めません。議会とも協議します。



集団転作・大豆のできばえは！



西村 伸一 議員

J A中央会は、来年度からの新たな米需給調整システムの移行について計画生産の徹底と、需給の安定に農業者団体自ら主体的に取り組むこととしている。昭

町長 国の新しい農業政策について大きな流れとして私はやはり農業者自らが生産体制の中核になって

国や県の指導は当分必要です。町もJ A、農家の皆さんとの連携のもとに取り組みます。

国は農業政策を大転換、町の対応は J A、農家との連携を進めます

和40年代から36年間の長きにわたり行政主導を進められてきた米需給対策の大転換である。いわゆる官から民への大転換であると思う。このような国の農業改革を町長の立場からどのようにとらえているのか問う

対応していくことは厳しい社会にあつて必要だと思えます。長い間、国や県が関与する中での生産調整を続けてきましたので円滑に移行する事は今日、重要な問題ではないかと思えます。円滑な移行を図る為には

二の一人、三にあら

(小代区)



邊見 豊氏 吉田二雄氏

今回は、特別養護老人ホームむらおかこぶし園の開設で忙しくされている、社会福祉法人みかたこぶし里、理事長の吉田二雄さんと施設長の邊見 豊さんを訪問いたしました。

本年10月に新たに開設された、むらおかこぶし園についてお聞きしました。

地域の皆さんの熱意におかれて

むらおかこぶし園を運営されることになった経緯は

平成14年、旧村岡町議会に3,500人の方から寄せられた請願が採択されました。その後、村岡町より再三にわたり要請を受け、平成16年9月より施設整備の準備が進められ、本年度10月、村岡区村岡2205番地にむらおかこぶし園として開設しました。

村岡美方こぶし園の概要
小代区で運営されている、村岡美方こぶし園は、平成元年9月、特別養護老人ホームこぶし園として開設されました。その間「デイサービスセンター」「在宅介護支援センター」「生活支援ハウス」「ホームヘルプサービス」「訪問入浴介護」「居宅介護支援事業所」事業を行っています。

また、16年4月には村岡区川会地内に「グループホーム」「デイサービスセンター」を開設しました。その後3町合併を機に訪問入浴介護事業、在宅介護支援センターは廃止となりましたが、運営にあたっては、真に地域に根ざした介護サービスを推進し、地域福祉の拠点としてその役割を担い現在に至っています。現在の入居者は、定員い

つばいの86人です。地域別では小代区32人、村岡区42人、その他12人となっています。そして男女の割合は、男16人、女70人です。

「ノーマライゼーションの確立」、「人権の保障」、「生きがいの創造」の三つを基本理念として、常に人権意識に根ざした住民意識の形

「わが家・わが住まい」「わが暮らし」の保障をめざす
運営にあたっては、どのような施設を目指されますか
また特徴があれば

今後の課題は、職員の確保と人材の育成
運営される中での、悩みとか苦労がありましたら



新たに開設した特別養護老人ホームむらおかこぶし園

諸般の状況を考えると今後の人材確保は困難が予想されます。特に介護員はどの施設も困難を極めています。事業運営の基本は職員にあります。「介護の質」を担保し得る人材の確保、育成こそ急務でありますので、福祉・介護の専門性を備えた家（施設）として地域との交流を進めながら真摯にその達成に努めたいと思っています。

きこき福祉の充実を

行政の取り組みについて何かありましたら

地方での福祉に対するニーズが益々高まる中にある、国の取り組みは医療改革等によって後退していると思っております。今後も厳しい状況が予想されますので、香美町にあつては他の関係機関との連携のもと、サービス低下にならないよう、きめ細やかな住民福祉の向上に頑張っていたきたいと思っております。

また、事業者も協働できますよう、ご支援をお願いします。

編集後記

秋祭りシーズンとなり町内でも毎日のように各區で祭礼がありました。祭りに酒は必要ですが、マスコミで毎日報道される飲酒運転は、どうにかならないのか、香美町では飲酒運転ゼロをめざしたいものです。

9月定例議会では17年度決算認定13議案が、決算特別委員会に付託され、他の議案は可決されました。(内容は本文で紹介) これから冬に向かい、香住区で松葉ガニ、小代区・村岡区では、スキーシーズンとなり、町内に活気があふれます。

議会広報は住民の皆さんと議会の議員を結ぶ太いパイプ役と考えていますのでご指導よろしくお願いいたします。

議会広報特別委員会

- 委員長 寺川 秀志
- 副委員長 小林 利明
- 委員 吉田 範明
- 西坂 秀美
- 岡田 公男
- 前垣 憲一
- 浜上 勇人